

(参考様式 4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	逆川地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
静岡県・掛川市	220001・222135	1	H24～H26	H24～H26
活性化計画の区域				
静岡県掛川市逆川地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する遊休農地の解消	解消面積 0.9ha	解消面積 0.9ha	100.0%	

(コメント)

計画作成時における目標値を100%達成できた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
区画整理	区画整理 A=6.4ha (水田 4.3ha、普通畑 2.1ha)			掛川市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
掛川市	平成 24 年度	平成 26 年度	平成 27 年 4 月 1 日	
事業の効果				
(逆川地区) 区画整理により遊休農地の解消、効率的な営農条件の整備が実施され、生産性の高い農業経営の推進が図られた。				

### 3 総合評価

(コメント)

区画整理により遊休農地の解消、生産性の高い農業基盤が整備され、地域の活性化が図られた。これにより、区域内の定住人口の減少緩和に繋がった。

### 4 第三者の意見

(コメント)

事業区域は2級河川逆川沿いにあり、地域住民のウォーキングコースとしても利用されているが、事業前は不整形な農地で一部に雑草が生い茂る遊休農地もあることから、歩行者が安心して利用できるように防犯上の観点からの整備要望もあった。本事業の区画整理により遊休農地が解消し、農道の整備により、住民の利便性や地域環境が向上し定住人口の減少の軽減に繋がっていると云える。

(掛川市自治会池下小区長)

小区画不整形な農地であったため、耕作者から今後の営農について継続は難しいとの相談が多く寄せられていたが、区画整理により効率的な基盤整備がなされ、生産性の向上及び農業従事者の労力と維持管理費の軽減が図られ、今後も安定した営農が継続されると評価できる。

(掛川市農業委員会 東山口地区担当委員)

#### 【記入要領】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広く記入すること。